

REGULATORY RADAR・2026

2026年、海事規制は大きく変わりました。 Brigantineは、そのすべてを把握しています。

2026年は、SOLAS、MARPOL、STCWの改正が近年最大規模で一斉に施行された年です。PSC当局、AMSA、RightShipは施行初日から新要件を適用しています。Brigantine Marine Servicesは全ての変更を継続的に追跡し、お客様の船舶が乗船検査時点で既に適合した状態となるよう支援します。

何が変わり、何が今後予定されているのか

施行済・2026年1月1日

コンテナ落失報告が義務化

船長は、海上へ落失または漂流しているコンテナについて、遅滞なく周辺船舶、沿岸国および船籍国へ報告しなければなりません。SOLAS V/31・V/32、MARPOL Protocol I。ブリッジ手順とSMSの報告システムも直ちに反映が必要で、不備はPSC指摘事項となります。

施行済・2026年1月1日

PFOS含有消火剤は禁止 - 初回検査までに証明

全船舶は、2026年1月1日以降最初の検査までに、PFOSを含まない消火剤を搭載していることを証明しなければなりません (SOLAS II-2)。メーカー証明が入手できない場合、船上サンプリングと試験が必要です。

施行済・2026年1月1日

新たな教育・貨物・設備基準

STCWに基づく暴力・ハラスメント・いじめ防止教育 (Table A-VI/1-4)、IMDG Code Amdt 42-24の完全適用、燃料油引火点申告とBDN記載、3,000GT以上の新造コンテナ船・バルカーへの電子式傾斜計、SOLAS II-1/3-13の揚貨設備・アンカーハンドリングウインチ要件、SOLAS II-2 Reg 20のRo-Ro船火災安全強化が対象です。

施行済・2026年3月/5月1日

新ECA - AMSAがSOLASをMarine Ordersへ反映

MARPOL Annex VIIに基づき、カナダ北極海とノルウェー海の2海域が新たなECAとなり、北東大西洋ECAも準備中です。2026年5月1日からAMSA改正Marine Orders 12 & 32が揚貨設備要件を反映し、既存設備は最初の更新検査までに適合証明が必要です。

予定・2026年9月1日-11月30日

貨物固縛に関する合同CIC - 全検査船・全港

Paris MoUおよびTokyo MoU (AMSA参加) は、検査対象船にCargo Securing Manual、ラッシング装置の状態・証明、CSS Code適合、乗組員能力について質問します。一つの誤回答でも正式なPSC指摘事項となります。

継続中・AMSA National Compliance Plan 2025-26

PSC検査2,400件超、より精緻なターゲティング

AMSAの強化されたりリスク分析により、保守管理、SMS、過去指摘履歴に弱点のある船舶にはより踏み込んだ検査が行われます。重点分野は船内保守、汚染防止、貨物固縛です。経験蓄積期間の終了に伴い、BWM D-2の執行も厳格化しています。

上記すべての変更は、 Brigantineが既に提供するサービスに対応しています。

特集：貨物固縛CIC

2026年9月1日-11月30日

2026年9月1日から11月30日まで、Paris MoUおよびTokyo MoU（AMSAを含む多くのPSC当局が参加）は、通常PSCに加えて、検査対象船ごとに貨物固縛専用質問票を適用します。各船は期間中一度CICを受検し、所見は通常のPSC指摘事項としてリスクプロファイルと拘留記録に反映されます。PSCOは、Cargo Securing Manualの承認と船舶固有の適用、ラッシング装置（ラッシングアイ・ソケットを含む）の状態・証明、固縛機材の保管と安全なアクセス、CSS Codeへの実務適合、固縛手順に関する航海士・乗組員の能力を確認します。次回のPre-AMSAまたはベッティング立会いに合わせてPre-CIC readiness checkをご予約ください。最初のPSCOが質問票を開く前に、不備を是正し、航海士への質問対応訓練を行います。

規制変更 当社の対応

コンテナ落失報告（SOLAS V/31-32）

SMS・ブリッジ手順の更新、立会い時の航海士ブリーフィング

VOYAGE GUIDANCE - 入港前に準備完了

準備は着岸してから始めるものではありません。BrigantineはPre-AMSA検査ごとに、Passage Guidanceにより航海全体を通じて船舶を準備します。

PFOS禁止 - 初回検査までに証明

Pre-AMSA/ベッティング検査時の書類確認

出港前ギャップレビュー

出港前に証書、PSC履歴、過去指摘事項を確認

STCWハラスメント防止教育

陸上・船上教育パッケージ、教育マニュアル作成

航海段階別チェックリスト

航海中、日ごとの準備項目を船長へ提示

MO12/MO32 揚貨設備（2026年5月1日）

コンディション検査で揚貨設備の状態と証明を確認

航海中リモート支援

検査員が海上で質問に回答し、証拠資料を確認

AMSAの保守・SMS重点検査

Pre-AMSAと内部監査を組み合わせ、半年ごとの船隊傾向レビュー

港別ブリーフィング

Port Hedland, Karratha, Port landの港固有要件 - パイロットラダー、非常操舵準備、最新港湾通知

RightShip・SIRE 2.0審査

ギャップ分析、事前検査、立会い、是正、スコア改善

入港準備完了確認

入港前最終確認により、船長が自信を持って水先人を迎え入れる状態にします

検査員が常時待機

オーストラリア - Master Mariner 3名・Chief Engineer 2名 中国 - Master Mariner 2名・Chief Engineer 2名 シンガポール - Master Mariner 1名 欧州 - Master Mariner 1名・Chief Engineer 1名

Master Mariner、Chartered Marine Engineer、Technical Superintendent、元船級協会サーベイヤーに加え、Brigantine基準で教育された世界規模の検査員ネットワークを有しています。予備報告書は24時間以内に提出し、リスク優先順位付き所見と写真証拠を安全な顧客ポータルで提供します。

Pre-AMSA Inspection & Passage Guidance：オーストラリア USD 2,360、中国 USD 2,450から。

Safety Vetting + Internal Audit同時立会い：USD 3,850（港湾費用別）。

2026 Readiness Reviewを予約